

一般社団法人日本音響家協会
第108回理事会議事録（電磁方法）

当協会は、2024年4月22日から同年4月26日の期間、電磁的方法により臨時理事会を開催した。

4月22日、議長の代表理事八板富榮から電子メールで議案が配付され、討議が行われた。

- 1、理事会の決議があったものとみなされた日：2024年4月26日（金）
- 2、提案者：八板富榮
- 3、理事総数：12名
- 4、出席理事並びに監事名
理事：網野岳俊、糸日谷智孝、大矢英和、奥山竜太、加藤りな、金子彰宏、坂下雄一、坪田栄蔵、丹羽 功、深尾康史、八板富榮、山本広志
監事：鷹栖 了
- 5、理事会の決議があったものとみなされた提案事項

【審議事項】

第1号議案 総会の事業報告案の件

議長から提案があり、支部からの添削を加味して、社員総会に議案を提出することとした。（添付）

第2号議案 劇場技術マネジメント講座の件

6月24日（月）10時30分から動画収録の再生を基本としてオンライン開催する。「上級劇場技術者のための」と銘打って、糸日谷智孝理事を統括とし、GGM teamの主催とすることを全会一致で可決した。

第3号議案 名誉会員の推薦案

議長より、長年にわたり理事または監事として尽力された鷹栖 了監事を名誉会員とすることを総会に発議することを全会一致で可決した。

第4号議案 会友に推薦の件

アナログ製作時代の「音響」誌の編集に携わり著名人のインタビューを多く担当、また協会推薦によりウイーン国立歌劇場でオペラの音響を研修された山海僥大を会友にすることを全会一致で可決した。

【報告事項】

1, 2024年協会賞の決定について

深尾康史協会賞担当理事から、ヤマハデジタルミキサー・プロジェクトチームに決定した旨の報告があった。

以上の議事を明確にするため、本議事録を作成し議長が以下に記名押印する。

2024年4月26日

一般社団法人日本音響家協会理事会

議長 八 板 富 榮 印